

報道関係各位

【地域の未来と美術の力】

武蔵野美術大学と一般財団法人地域活性化センターが連携協力に関する協定を締結



Musashino Art University

武蔵野美術大学(東京都小平市、学長：長澤忠徳)と一般財団法人地域活性化センター(東京都中央区、理事長：椎川忍)は、連携協力に関する協定を締結します。この協定により、センターと大学が、教育・研究、ひとづくり、まちづくり等の分野において連携協力し、文化の創造発展及び地域振興の推進に寄与することを目指します。

つきましては、下記日程にて、協定式及び記念イベントをオンライン配信しますので、是非ご覧いただけますようお願いいたします。

■日時：2020年8月3日(月) 15:00-

■配信ページ：<https://rcsc.musabi.ac.jp/>

※メディアの方には、別途写真等の素材をご提供する予定です。

■内容

【協定式】

- 協定締結団体各代表者挨拶
武蔵野美術大学 学長 長澤忠徳
一般財団法人地域活性化センター 理事長 椎川忍
- 協定書締結
- 記念撮影

長澤忠徳



【記念イベント】「地域の未来と美術の力」

- 登壇者 長澤忠徳
(武蔵野美術大学 学長)
- 若杉浩一
(武蔵野美術大学 造形構想学部クリエイティブイノベーション学科教授)
- 椎川忍
(一般財団法人地域活性化センター 理事長)
- 上猶真美
(一般財団法人地域活性化センター 企画課連携交流室長)
- モデレーター
井口博美
(武蔵野美術大学ソーシャルクリエイティブ研究所 所長)

椎川忍



【ポイント】

- (1) 地域活性化センターが美術系大学と連携協定を締結するのは初めての事例となります
- (2) 大学、センターをハブとしたコミュニティ形成を構築し、
地域創生に関する取り組みの更なる展開を目指します
- (3) 美術、デザインからの観点による本質的な地域課題、社会課題への取り組みを推進します

【連携事項】

- (1) 文化芸術及び教育・研究に関する事項
- (2) 地域社会の活性化に関する事項
- (3) 人材育成に関する事項
- (4) 相互が実施する活動・事業の実施及び周知に関する事項
- (5) 両者が有する知的資源、人的資源及び物的資源の活用及び交流に関する事項
- (6) その他連携及び協力に関する事項

【協定に基づく主な取り組み】

本学ソーシャルクリエイティブ研究所内に「地域価値デザインラボ」を発足し、自治体、企業、教育機関等が参画できるコミュニティを形成した、様々な取り組みを実施する予定です。



- ・ 地方自治体職員向けアート、デザインプログラムの開催
- ・ 一般向け公開講座、セミナーの共同開催
- ・ 地域課題、情報のデータベース化およびネットワークを活用した調査、研究
- ・ 企業との連携による地域イノベーションの創出
- ・ 地域における高大接続、大学連携の推進
- ・ 中高生を中心とした、地域課題、社会課題に取り組む若年層のサポート
- ・ 地域創生インターンシップの推進

【これまでの活動（参考）】



* 地域づくりを担う人材の育成や交流のためのセミナー・研修の様子



* 本学学生と自治体による共同研究の様子



* 地方高校での模擬授業の様子

■ 研究所概要

名称：武蔵野美術大学ソーシャルクリエイティブ研究所

英語名称：Musashino Art University Research Center of Social Creative

所在地：武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス（東京都新宿区市谷田町1-4）

激しい環境の変化や未来が予測しづらい現代が抱える課題を、研究所が企業、地域、行政、教育の壁を超え、領域横断的に取り組み、ビジョンとプロトタイプを研究提案することで、社会問題の解決や新たな人類価値を創出するため、2019年7月に設立しました。



【本リリースに関するお問い合わせ先】

武蔵野美術大学 大学企画グループ研究支援チーム 担当：板橋

phone: 042-342-7945 fax: 042-342-6087 e-mail: rcsc_info@musabi.ac.jp